

2002年センター報告・日誌

* フランクリン文庫保存事業

昨年に引き続き、全資料に対する劣化調査を行うと共に、装丁の壊れが激しく利用に供することが著しく困難な仮綴じ本の再製本作業、および大量のパンフレット類の保存容器入れ作業・再製本作業を中心に、その他必要な保存処置を行っている。仮綴じ本の再製本作業は専門家による外注とセンター内保存修復工房で分担して行っている。経費は、校費の特別配分事業費と如水会の援助金で行っている。

* フランクリン文庫総目録作成及び CD-ROM 化事業

今年度は科学研究費（研究成果公開促進費）の助成を受け、不足分は「125周年記念募金」の援助で、昨年度にひきつづきデータシート作成および10月から入力作業を行っている。

第3回西洋古典資料保存講習会

下記の内容で、7月24日(水)から7月26日(金)まで3日間開催し、全国の国公立大学図書館等から4名参加にしばって、実習を中心に行った。

- | | | |
|-----------------------|------|----------------------|
| 1 材料と環境 | 増田勝彦 | 昭和女子大学教授 |
| 2 調査と計画 | 石井 健 | 一橋大学社会科学
古典資料センター |
| 3 製本の構造、保革油・保存容器、簡易製本 | 岡本幸治 | 製本家・書籍修復家 |

第22回西洋社会科学古典資料講習会

下記の内容で、11月12日(火)から15日(金)まで4日間開催し、全国の国公立大学図書館等から30名が参加した。

古典研究

- | | | |
|---|------|-----------|
| (1) 古典派経済学とインド | 安川隆司 | 東京経済大学助教授 |
| (2) 経済学が「イタリア人たちの科学」であったとき — ナポリにおける啓蒙と革命 (1754~1821) — | 奥田 敬 | 甲南大学助教授 |

書誌学

- | | | |
|------------------------------------|--------|----------------------|
| (1) 図書館員のための書誌学入門 — 記述書誌の読み方を中心に — | 武者小路信和 | 大東文化大学助教授 |
| (2) 社会科学古典資料センターの古版本目録について | 松尾恵子 | 一橋大学社会科学
古典資料センター |
| (3) マルコ・ポーロ『東方見聞録』— 写本と刊本 | 月村辰雄 | 東京大学教授 |
| (4) 初期印刷本の一ジャンルとしての聖遺物カタログについて | 秋山 聡 | 東京学芸大学助教授 |
| (5) イギリスの古版本 デフォーの『ツァー』をめぐる史料論的問題 | 石井 健 | 一橋大学社会科学
古典資料センター |

保存・修復

- (1) 紙の保存 増田勝彦 昭和女子大学教授
(2) 本の保存技術とその課題 岡本幸治 製本家・書籍修復家
古典センター見学（書庫・所蔵資料・保存作業工房）

日誌（2002年1月～12月）

2月20日 第58回社会科学古典資料センター運営委員会

- 議題：1 平成15年度概算要求について
2 来年度以降の保存活動について
3 その他
① 大塚文庫について
② 附属図書館資料の社会科学古典資料センターへの配置について

3月4日～22日 ギールケ文庫クリーニング

3月29日 利用案内2002作成

一橋大学社会科学古典資料センター年報 第22号発行

Study Series No. 48: Tamotsu Nishizawa 『Marshall, Ashley on Education of Businessman and ‘Science of Business’? —Marshall’s School of Economics in the Making—』発行

5月27日～31日 外壁窓枠防水工事

5月29日 第59回社会科学古典資料センター運営委員会

- 議題：1 平成13年度事業報告について
2 平成13年度決算報告について
3 平成14年度事業計画について
4 その他 ①附属図書館資料の社会科学古典資料センターへの配置について

7月24日～26日 第3回西洋古典資料保存講習会開催

8月～9月 蔵書クリーニング、蔵書移動及び蔵書点検（ギールケ文庫他 9月9日～13日休館）

11月1日～15日 一橋大学附属図書館公開企画展示（幸田成友氏の旧蔵書紹介）に出品資料貸出し

11月12日～15日 第22回西洋社会科学古典資料講習会開催

11月27日 第60回社会科学古典資料センター運営委員会

- 議題：1 平成16～21年度「中期目標・中期計画」について
2 来年度以降の保存事業について
3 蔵書点検報告について
4 スタディーシリーズの編集について
5 年報の編集について
6 一橋大学社会科学古典資料センター図書およびマイクロ資料利用規則の改正について
7 その他

利用状況（2002年1月～12月）

開館日数	220日
利用者	252人
（学内）	117人
（学外）	73人
（文献複写）	62人
利用冊数	850冊
複写冊数	84冊